

特集

序文 糖尿病診療の最前線～その治療から合併症まで～

神谷英紀*

現在、世界的に糖尿病のある人の数は増加し、我が国においてもその傾向はみられ、その特徴としては高齢者の糖尿病が増えている。

糖尿病治療の目標は、1：合併症(細小血管障害および動脈硬化性疾患)の発症・進展を阻止することに加えて、2：加齢で増加する併存疾患(サルコペニア、フレイル、認知症、悪性腫瘍など)の予防と管理、さらには3：ステイグマ・社会的不利益・差別の除去、の3本柱に対し、しっかりと適切に対応していくことにより、糖尿病のある人の寿命と生活の質を維持すること、つまり糖尿病のない人と変わらない健康寿命を全うすることである。近年、糖尿病のある人の平均死亡時年齢や平均余命に関しては、一般の人と変わらないというデータが報告されるようになり、寿命に関しては延伸していると言えるが、それが健康寿命かどうかは今のところ不明である。健康寿命の延伸を目指すためには、糖尿病治療においては血糖・血圧・脂質代謝の良好なコントロール状態と適正体重の維持および禁煙の順守が求められるが、その中でも血糖マネジメントが重要であることは言うまでもない。

血糖値の評価法においてはデバイスの進歩が著しい。CGM (Continuous Glucose Monitoring (持

続血糖測定)) を用いて24時間連続で血糖値の可視化が可能になり、医療におけるより適切な診療だけでなく患者自身の自己管理に繋がっている。治療においては、食事、運動療法が原則であり、それに薬物療法が加わる。食事療法や運動療法に対する考え方も様々なエビデンスを基に変化しており、より適切な食事・運動指導を実践できることが望ましい。薬物療法においては、SGLT2阻害薬やインクレチン関連薬が登場し、さらにはその薬剤がもたらしたエビデンスから世界の薬物療法のアルゴリズムが大きく変化した。これらの薬剤はもちろん血糖マネジメントにおいても有効であるが、それ以上に合併症や併存疾患に対する有用性が示唆されており、今後の薬物療法を先導することは間違いない。ただその使用においては有効性だけではなく安全性にも配慮して処方いただきたい。

本特集においては、我が国における糖尿病の現状と課題について藤田医科大学の平塚いづみ先生から、栄養食事療法については糖尿病・内分泌内科クリニック TOSAKI の佐藤史織先生、運動療法については愛知医科大学病院の木島望美先生、薬物療法(内服)については名古屋大学の杉山摩利子先生、注射療法については名古屋市立大学の田中智洋先生、新しいデバイスについては名古屋大学の尾上剛史先生、そして合併症と併存疾患については愛知医科大学の三浦絵美梨先生にご執筆いただいた。愛知県内で積極的に最前線で糖尿病臨床に取り組まれている先生

—Key words—

糖尿病、治療、検査、合併症

* Hideki Kamiya：愛知医科大学医学部内科学講座 糖尿病内科教授

方からの最新の貴重な情報であり、明日からの会員皆様の診療にご活用いただけると幸いである。

利益相反

ICMJE 開示フォームを基に COI を開示する。

企業・団体から所属機関への助成金や契約による資金提供
(寄付講座など)

個人 COI : EA ファーマ(株), 大塚製薬(株), (株)三和化学研究所, 協和キリン(株), 興和(株), 住友ファーマ(株), 第一三共(株), 武田薬品工業(株), 帝人ファーマ(株), 日本イーライリリー(株), 日本ベーリングaine-インゲルハイム(株), 持田製薬(株), 小野薬品工業(株), フクダ電子(株), CBC(株), パレクセル・インターナショナル(株), キッセイ薬品工業(株), MSD(株)

以下の活動に対する謝金, 報酬, 料金

(講演, プレゼンテーション, 原稿執筆, 教育イベント, 講演者・専門家の会や派遣仲介団体との関わり)

個人 COI: ノボノルディスクファーマ(株), サノフィ(株), 住友ファーマ(株), 日本イーライリリー(株), 日本ベーリングaine-インゲルハイム(株), 第一三共(株), アストラゼネカ(株), 小野薬品工業(株), キッセイ薬品工業(株), 大正製薬(株), 田辺三菱製薬(株), 興和(株), アステラス製薬(株), フクダ電子, ノバルティスファーマ(株), MSD(株), EA ファーマ(株), (株)三和化学研究所, 中外製薬(株), アボットジャパン合同会社, グラクソsmithkline(株), 協和キリン(株), ヴィアトリス(株), 大塚製薬(株), バイエル, 帝人ファーマ(株), 帝人ヘルスケア(株), エーザイ(株), アークレイマーケティング(株)

有給・無給を問わず, 他の理事会, 学会, 委員会, アドボカシー団体等で指導的役割または受託的役割

個人 COI : 日本糖尿病学会理事(無給), 日本糖尿病合併症学会理事(無給), 日本糖尿病肥満動物学会常務理事(無給), 日本糖尿病眼学会常務理事(無給)